

新グレードの高吸水性樹脂を増産

紙おむつの更なる薄型化に貢献し、利便性向上と省資源化ニーズに対応

三洋化成工業株式会社
(証券コード 4471)

三洋化成工業株式会社(本社:京都市東山区、社長:安藤孝夫)と豊田通商株式会社(本社:名古屋市中村区、社長:加留部淳)の合併会社であり、かつ、三洋化成工業株式会社の連結子会社であるSDPグローバル株式会社(本社:東京都中央区、社長:武田栄明)は、名古屋工場(愛知県東海市)において、紙おむつの更なる薄型化に貢献する新グレードの高吸水性樹脂『サンウェットSG』シリーズを生産するための設備改造工事を完了しましたので、報告申し上げます。

同工場における『サンウェットSG』シリーズの生産能力は年産最大6万トンです。SDPグローバル株式会社の中国現地法人である三大雅精細化学品(南通)有限公司(本社:中国江蘇省南通市、董事長:武田栄明)における最大8万トンと合わせて、最大14万トンの生産能力になります。

【高吸水性樹脂『サンウェットSG』シリーズの供給体制強化の背景】

『サンウェットSG』シリーズは、以下のような優れた性能を持ち、お客さまから高い評価を得ています。

尿の拡散性に優れ、紙おむつにおいて主に拡散性の役割を担っているパルプの使用量を減らすことができるため、紙おむつの薄型化が可能になります。

『サンウェットSG』シリーズを使った紙おむつは、広範囲で尿を吸収できるため従来に比べて尿の有効吸収量が1割以上増え、紙おむつの長時間使用が可能になります。

利便性とともに省資源化ニーズにも対応できる『サンウェットSG』シリーズの活躍の場はますます広がることが予想され、供給体制の整備が急務でした。

【今後の予定】

紙おむつ向けの高吸水性樹脂の需要は近年、中国をはじめとする新興国を中心に急速に伸びており、今後も旺盛な需要の拡大が予想されています。

SDPグローバル株式会社は、日中2極体制で現在の合計生産能力は年間28万トン(日本計:13万トン、中国計:15万トン。なお、2015年7月稼働予定で、中国で年間8万トンの能力増強を発表済み)。今後も成長する高吸水性樹脂市場での積極投資を通じてグローバル展開を加速し、引き続き高品質な製品の安定供給に努めてまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>
三洋化成工業株式会社 広報部
電話 075-541-4312